



4K@60 4:4:4 対応

モジュール式シームレスビデオプロセッサ

DVP500x シリーズ

取扱説明書 Ver.1.0.0

- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

ARVANICS Corporation

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図などが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.arvanics.com>

取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、目的に応じて分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。なお、クイックスタートガイドおよびコマンドガイドについては、弊社ホームページからのダウンロード提供のみになります。

■ユーザーズガイド (本書)

[目的]

- ・ 設置し、周辺機器と接続をする。
- ・ 入出力調整や設定などをする。

■クイックスタートガイド

[目的]

- ・ 簡単な操作方法を知る。

■コマンドガイド

[目的]

- ・ シリアル通信および LAN 通信などによる外部制御をする。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。



安全上のご注意







製品をご使用前に必ずお読みください。

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。


「警告」、「注意」、「記号」の意味

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。	 感電注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。	 プラグを抜く

警告



■重い製品を持ち上げるときは

 指示	<p>●持ち上げるときは2名以上で作業する</p> <p>製品を持ち上げるとき、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に降ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。</p> <p>一人での持ち上げは負傷を招く原因となります。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------







警告


■設置・接続するときは

 禁止	<p>●不安定な場所に置かない 水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p> <p>●振動のある場所に設置するときは固定する 振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
 指示	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後に、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p>

■お使いのときは

 禁止	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・ACアダプタは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・ACアダプタが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 分解禁止	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 接触禁止	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
 指示	<p>●電源プラグの埃などは定期的にとる 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>




■もしものときは

 プラグを抜く	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------





注意

■設置・接続するときは

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ●埃・油煙・湿気の多い場所に置かない 埃の多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ●通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ●本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 <p>ぬれ手禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ●海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ●ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける (ラックへ設置できる製品の場合) EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。 また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ●ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない (ゴム足付き製品の場合) ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

■お使いのときは

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源コード・AC アダプタ以外のものは使用しない ●付属の電源コード・AC アダプタは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 <p>プラグを抜く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ●お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプタをコンセントから抜く 感電の原因になります。

目次

目次.....	6
1. 同梱物の確認.....	8
2. 製品概要.....	9
3. 各部の名称とはたらき.....	10
3.1. フロントパネル.....	10
3.2. リアパネル.....	12
4. 基本設定・操作方法.....	13
4.1. DIVIP の制御方法.....	13
4.2. フロントパネルボタンからの基本設定.....	14
4.2.1. Advanced メニュー.....	14
4.3. フロントパネルボタンからの切換.....	15
4.4. ログイン手順.....	17
4.5. コントロール画面の説明.....	18
4.6. 言語設定.....	19
4.7. ビデオウォールの操作方法.....	20
4.8. プロパティ設定 (Property settings).....	24
4.8.1. 配置.....	24
4.8.2. アスペクト比を維持.....	25
4.8.3. トリミング.....	25
4.8.4. ソース切替.....	26
4.8.5. Effects.....	26
4.8.6. Frame.....	27
4.8.7. OSD.....	28
4.9. 音声入出力マトリクス of 操作方法.....	29
5. システム設定.....	30
5.1. システム設定 (System Config).....	30
5.2. インフォパネル (Info Panel).....	31
5.3. ユーザー設定 (User Configuration).....	31
5.4. 詳細設定 (Advanced Configuration).....	32
5.4.1. ユーザープリセット (User Presets).....	32
5.4.2. ネットワーク設定 (Remote Control).....	33
5.4.3. シリアルポート (Serial Port).....	33
5.4.4. 日付&時刻 (Date and Time).....	34
5.4.5. エクストラ (Extra).....	34
5.4.6. ログ (Logging).....	36
5.4.7. 情報 (Hardware Monitor Info).....	37
6. ビデオウォールの構成設定.....	38
6.1. スクリーン設定.....	38
6.2. カスタム出力解像度.....	41
6.3. 入力設定.....	43
6.4. 詳細設定パネル (Advanced Panel).....	44
6.4.1. エクストラタブ.....	44
6.4.2. Logo タブ.....	44
6.4.3. 情報タブ.....	44
7. シナリオ操作.....	45
7.1. DXScenario User Interface.....	45
7.2. シナリオファイルの編集と操作.....	46

7.3. カレンダーを利用した DXScenario ユーザーインターフェース	48
7.3.1. スケジュールイベントの作成.....	48
8. タブレットコントロール.....	50
9. 外部キーボードを使った操作.....	51
10. 工場出荷時設定.....	52
11. Wake on LAN.....	53
12. 製品仕様.....	54
13. 正常に動作しないときは.....	56

1. 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までお問い合わせください。

- | | | |
|--------------|---|-----------------|
| • DVP500x 本体 | … | 1 台 |
| • 専用 AC コード | … | 本数はモデルにより異なります。 |
| • 取扱説明書(本書) | … | 1 冊 |

2. 製品概要

DVP500x はスケーラーを搭載した最大 4K@60 対応の完全シームレス対応のビデオプロセッサです。

入出力カードは多様な信号フォーマットに対応しており、ボード単位で選択が可能となっています。PinP（ピクチャ・イン・ピクチャ）機能を搭載しており、1つの表示器に最大 8 ウィンドウまで目地をまたいで表示可能です。*

*ウィンドウ数はモデルに依存します。

3. 各部の名称とはたらき

3.1. フロントパネル



フロントパネル

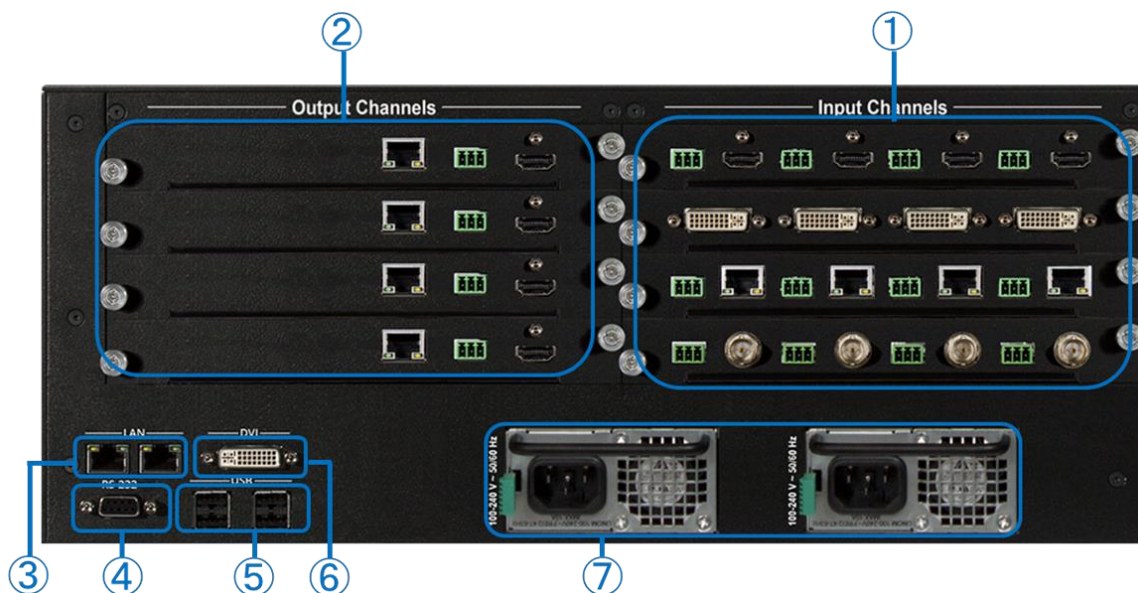
※モデルによって外観が異なる場合があります。

フロントパネルの各名称とはたらき

番号	名称	説明
①	パワーボタン	本機の電源を ON します。起動時に押しと本機がシャットダウンします。
②	ステータス LED	本機の電源、センサーの状態を表示します。
③	LCD パネル	メニューと設定を表示します。
④	方向ボタン	メニューの切り換え、設定値を変更します。
⑤	メニュー / 決定ボタン	メニューを LCD ディスプレイに表示します。設定の決定をします。
⑥	スタートボタン	表示待機中の入力チャンネルを出力モニタに表示します。
⑦	入力チャンネル選択ボタン	入力チャンネルの設定時に使用します。 【参照：5.6 フロントパネルボタンからの切換 (P.15)】
⑧	入力オプションボタン	入力チャンネルの PIP 表示、音声出力を切り換える際に使用します。 【参照：5.6 フロントパネルボタンからの切換 (P.15)】
⑨	出力チャンネル選択ボタン	出力チャンネルの設定時に使用します。 【参照：5.6 フロントパネルボタンからの切換 (P.15)】
⑩	出力オプションボタン	出力チャンネルの全選択や、ソース映像を閉じる際に使用します。

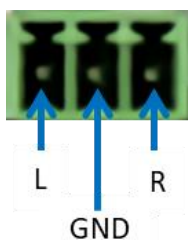
		【参照 : 5.6 フロントパネルボタンからの切換 (P.15)】
--	--	--------------------------------------

3.2. リアパネル



リアパネル

※モデルおよびボード構成によって外観が異なる場合があります。



リアパネル - アナログオーディオ端子

リアパネルの各名称とはたらき

番号	名称	説明
①	入力ボード / コネクタ	映像信号の入力コネクタです。ソース機器と接続します。コネクタ形状はボード構成に依存します。
②	出力ボード / コネクタ	映像信号の出力コネクタです。液晶モニター、プロジェクターなどのシンク機器と接続します。コネクタ形状はボード構成に依存します。
③	LAN コネクタ (1, 2)	LAN 通信コネクタです。通信コマンドまたは WEB ブラウザによる外部制御をするときに使用します。
④	RS-232C コネクタ	通信コマンドによる外部制御で使用します。
⑤	USB コネクタ	USB キーボード、マウスの接続に使用します。
⑥	ローカル DVI コネクタ	DVI 信号のローカル出力コネクタです。ローカルコンソール用モニターと接続します。
⑦	電源ユニット (230V)	付属の電源コードを接続します。

4. 基本設定・操作方法

4.1. DIVIP の制御方法

本機は以下の方法で制御することができます。

1. フロントパネルボタンからの設定・制御

フロントパネルボタンから本機の基本的な設定変更が可能です。またフロントパネルボタンで入出力信号の切り換え、表示、レイアウトパターンの呼び出しを行うことができます。なお、フロントパネルボタンからは本機で設定できる全ての設定を行うことはできません。詳細設定はキーボードとマウス、ローカルモニタを使って行うか Web ブラウザから設定をしてください。

2. キーボード、マウス、ローカルモニタによる設定・制御

マウスとキーボードを DIVIP の USB ポートにつなぎ、ローカル用モニタを DIVIP のローカル出力ポート (DVI) に接続してください。DIVIP の電源を入れるとローカルモニタ上にログインウィンドウが表示されます。ログインに成功すると、DXHTMLControl のメインウィンドウが表示されます。このメインウィンドウで全ての設定と操作を行うことができます。

3. Web ブラウザからの設定・制御

本機を LAN に接続します。本機の IP アドレスを同じネットワーク上にある PC や iOS、アンドロイドタブレットの HTML5 対応ブラウザに入力してください。ネットワークが正常に動作している場合、DXHTML Control アプリケーションのログインウィンドウが表示されます。このログインウィンドウで全ての設定と操作を行うことができます。

4. 外部制御コマンドからの制御

外部制御コマンドを利用して、リモートオペレータ PC やタッチパネル等から本機を制御することが可能です。詳細は別冊のコマンドガイドをご確認ください。

4.2. フロントパネルボタンからの基本設定

本機はフロントパネルボタンから設定・制御することができます。以下のメニューは「MENU」ボタンを押した後▲▼ボタンを押すことで選択できます。

4.2.1. Advanced メニュー

- **Remote Control**

IP アドレスやネットワークマスク等のリモート制御に関するパラメータを設定します。

設定を保存するには「SET」ボタンを押し、設定を有効にするには「Apply now」を選択してください。

- **Button Function**

フロントボタンの操作モードを設定します。以下のモードが利用可能です。

- **Overlay**

フロントボタンにより、個々のオーバーレイウィンドウを操作します。INPUT ボタンによって選択された入力ソースは OUTPUT ボタンによって選択された出力上に表示されます。

- **Layout**

あらかじめ登録されているレイアウトをフロントボタン操作で呼び出すことができます。Layout1 ~ Layout16 は INPUT ボタンを押すことによって呼び出すことができ、Layout17 ~ Layout32 は OUTPUT ボタンを押すことによって呼び出すことができます。

- **FW Update**

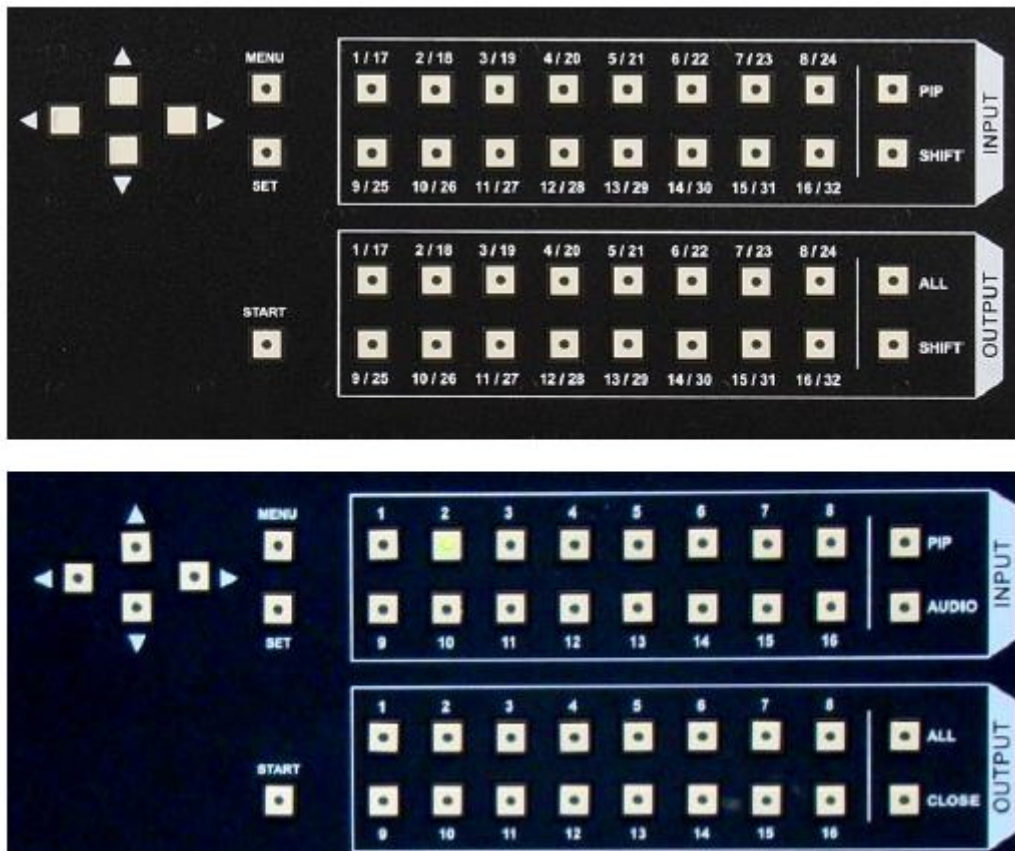
本機のファームウェアアップデートの際に利用します。

- **Factory Reset**

本機の全ての設定を工場出荷時に戻します。

4.3. フロントパネルボタンからの切換

本機はフロントパネルボタンから映像の入出力を簡単に切り換えることができます。



4Uモデル (下) と7Uモデル (上) のフロントパネルボタン

- **入力信号の表示**

入力信号を表示するには、入力チャンネルボタンを選択します。その後、入力信号を表示する出力チャンネルボタンを選択してください。全ての出力チャンネルに表示させる場合は、「ALL」ボタンを選択してください。

本操作は、「Button Function」のパラメータが「Overlay」に設定されている時に実行可能です。

- **入力信号の表示終了**

いずれかの入力チャンネルボタンを押すと、その入力チャンネルが現在表示されている出力チャンネルボタンが点灯します。その後、入力信号の表示を終了したい出力チャンネルボタンを選択してください。

全ての出力ポートで入力ソースを閉じる場合、以下の操作を行ってください。

- 4Uモデルの場合

「CLOSE」ボタンを押してください。

- 7U、14Uモデルの場合

「ALL」ボタンを押してください。選択した入力チャンネルがすでに出力チャンネルに表示されている場合は、すべての出力チャンネルから選択した入力信号のウィンドウが閉じます。入力信号が表示されていない場合、「ALL」ボタンを一度押すとすべての出力チャンネルに選択した入力チャンネルのウィンドウが表示され、もう一度押すとウィンドウが閉じます。

本操作は、「Button Function」のパラメータが「Overlay」に設定されている時に実行可能です。

- **PIP / 音声選択**

- 4U モデルの場合

「PIP」ボタンを押すと、ボタンのLEDが点灯し、PIP出力の操作が有効になります。その後、PIPウィンドウを表示させる入力チャンネルボタンと出力チャンネルボタンを選択してください。PIPウィンドウを閉じたい場合は、LEDの点灯した出力チャンネルボタンを再度押してください。

「AUDIO」ボタンを押すと、ボタンのLEDが点灯し、音声出力の操作が有効になります。その後、音声を出力させる入力チャンネルボタンと出力チャンネルボタンを選択してください。音声出力を止めたい場合は、LEDの点灯した出力チャンネルボタンを再度押してください。

「PIP/Audio」ボタンのLEDが点灯時にもう一度「PIP/Audio」ボタンを押すと、ボタンのLEDが消灯し、メインチャンネルの操作が有効になります。

- 7U、14U モデルの場合

「PIP/Audio」ボタンを押すと、ボタンのLEDが点灯し、PIP出力の操作が有効になります。その後、PIPウィンドウを表示させる入力チャンネルボタンと出力チャンネルボタンを選択してください。

PIPウィンドウを閉じたい場合は、LEDの点灯した出力チャンネルボタンを再度押してください。

「PIP/Audio」ボタンのLEDが点灯時にもう一度「PIP/Audio」ボタンを押すと、ボタンのLEDが点滅し、音声出力の操作が有効になります。その後、音声を出力させる入力チャンネルボタンと出力チャンネルボタンを選択してください。音声出力を止めたい場合は、LEDの点灯した出力チャンネルボタンを再度押してください。

「PIP/Audio」ボタンのLEDが点滅時にもう一度「PIP/Audio」ボタンを押すと、ボタンのLEDが消灯し、メインチャンネルの操作が有効になります。

本操作は、「Button Function」のパラメータが「Overlay」に設定されている時に実行可能です。

SHIFT ボタン (7U、14U モデル)

SHIFTボタンを押すことで、16以降のチャンネルボタンを操作することが可能です。LCDディスプレイに選択中のチャンネル範囲が表示されます。

本操作は、「Button Function」のパラメータが「Overlay」に設定されている時に実行可能です。

- **レイアウト呼び出し**

レイアウトを呼び出す際は、オープンレイアウトボタン (L1~L8) を選択してください。

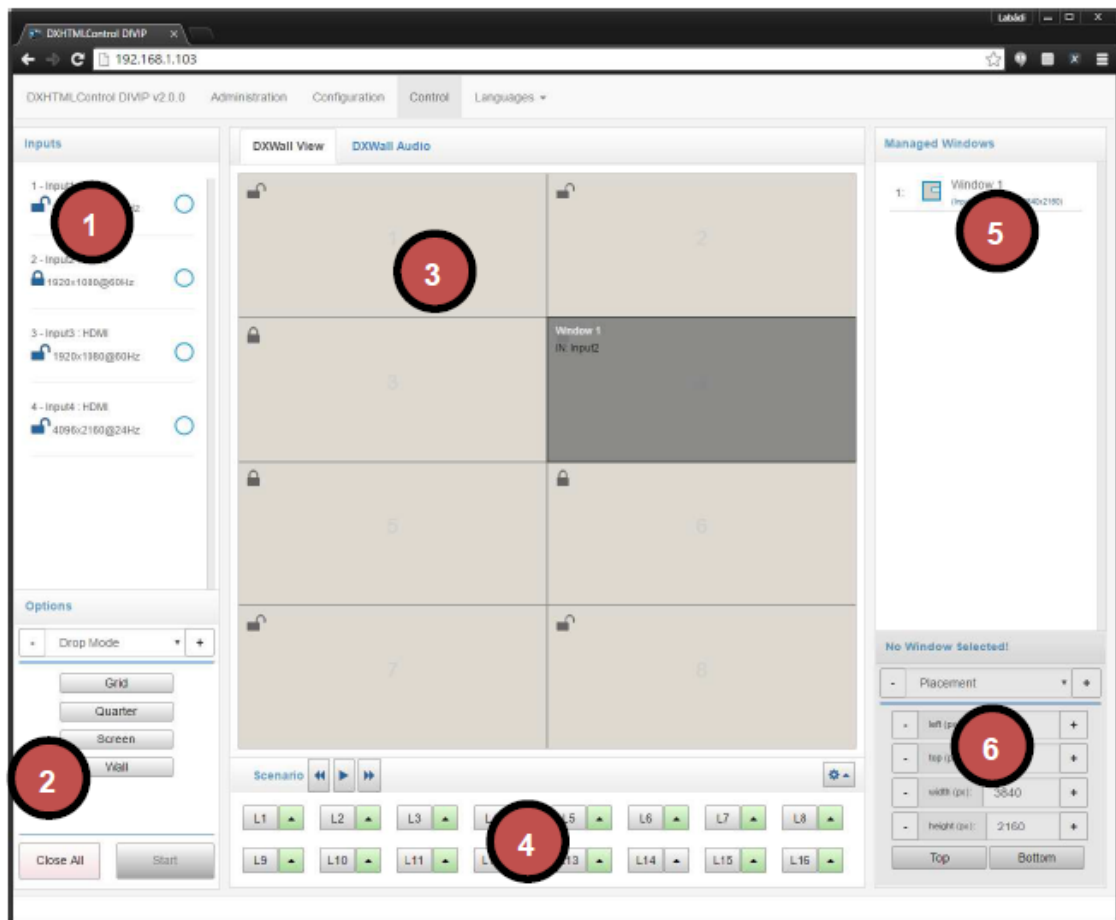
本操作は、「Button Function」のパラメータが「Layout」に設定されている時に実行可能です。

4.4. ログイン手順

<p>ステップ1 DVI のローカルモニタ及び表示器を接続した後、フロントパネルの電源ボタンを押して電源を投入してください。</p>	
<p>ステップ2 起動後、ローカルモニタにログイン画面が表示されます。 ユーザー名とパスワードを入力してください。 ユーザー名 : Administrator パスワード* : (空白) *パスワードはログイン後の System Config から変更可能です。</p>	
<p>ステップ3 Web ブラウザからもローカルと同様の操作を行うことが可能です。デフォルト IP アドレスは DHCP 自動取得になっています。 IP アドレスはフロントパネルとキー操作によって以下の操作で変更可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Advanced ▶ Remote Control ▶ DHCP Enable へ進み、▶ ボタンを押します。 2. ▲▼ボタンで Disable を選び Set ボタンを押します。 3. ◀ ボタンを押して戻り、▲▼ボタンを押して IP Address を選び ▶ ボタンを押します。 4. ▲▼ボタンで IP アドレスを設定し、◀ ボタンで戻ります。 5. ▲▼ボタンを押して Network Mask を選び ▶ ボタンを押します。 6. ▲▼ボタンで IP アドレスのサブネットマスクを設定し、◀ ボタンで戻ります。 7. ▲▼ボタンを押して Apply now を選択し、Set ボタンを押します。 	

4.5. コントロール画面の説明

本機にログインすると、以下のコントロール画面が表示されます。



① 入力信号ステータスエリア	<p>入力信号のステータスを表示します。 ここで認識された入力信号の解像度、リフレッシュレート、および HDCP のステータスを確認することができます。</p>
② オプションエリア	<p>ドロップモードの変更、グリッドラインの設定、切換効果、DXWall ビューのアスペクト比の設定を行います。 また「すべてを閉じる」ボタンを利用することで全てのウィンドウを閉じたり、「スタート」ボタンを利用して DXWall ビュー上で行った変更を表示器に反映させたりすることが可能です。 オプション内の「自動で反映させる」にチェックが入っている場合は、DXWall ビュー上で行った変更は直ちに反映されます。</p>
③ DXWall ビュー	<p>表示したビデオウィンドウを出力チャンネル間の目地をまたいで移動させることが可能です。DXWall ビュー上でビデオウィンドウを表す四角形をドラッグし、配置したい場所にドロップしてください。</p>

④ レイアウトボタン シナリオ再生・手動切換	ビデオウィンドウのレイアウトを保存し、ボタン操作一つで簡単に呼び出すことが可能です。 また、保存したレイアウトは、表示時間を設定して自動で切り換えること(シナリオ再生)が可能です。
⑤ ウィンドウ管理	表示中のビデオウィンドウの配置と入力信号のパラメータを表示します。また、Z 順序（最前面・最背面等）の変更も可能です。
⑥ ウィンドウプロパティ	ビデオウィンドウのパラメータの設定変更が可能です。以下の設定項目がこのエリアに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 配置 ● アスペクト比を保持 ● トリミング ● ソース切替 ● Effects ● Frame ● OSD

4.6. 言語設定

初めてログインした場合、コントロール画面は英語表示になっています。ログイン後、画面上部の言語設定アイコンをクリックし、「Japanese」を選択することで日本語に言語を変更できます。

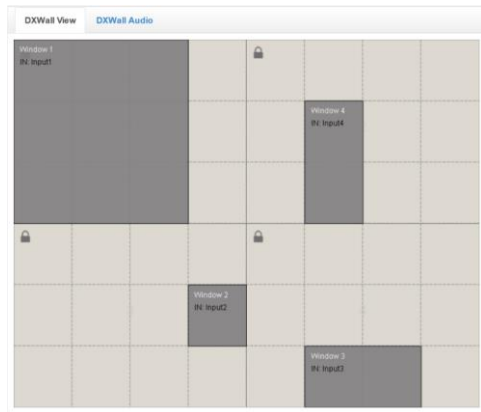


[図 4.1] 言語設定の変更

4.7. ビデオウォールの操作方法

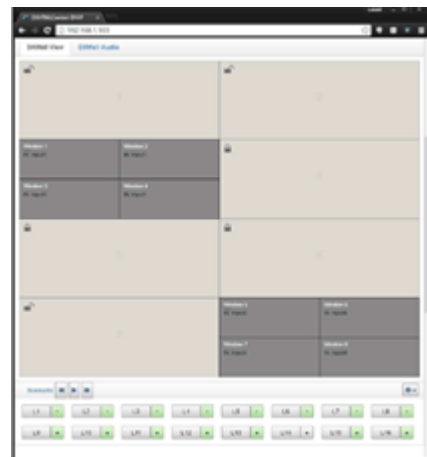
<p>ステップ1 入力信号をスクリーン内に配置する場合は、以下の手順で行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入力エリアにて、表示したい入力信号の右側にある○を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 鍵マークがついている入力信号は、HDCP が付加されています。 2. 入力信号を選択後、DXWall ビュー上の任意の場所をクリックします。DXWall ビュー内にビデオウィンドウが配置されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 入力チャンネルをドラッグして、DXWall ビュー上の任意の場所にドロップすることでビデオウィンドウを配置することも可能です。これをドラッグアンドドロップモードと呼びます。 	
<p>ステップ2 ドラッグアンドドロップモードを使用する場合、配置されるウィンドウの既定のサイズを変更できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オプションエリアから「ウィンドウ作成」を選択します。 2. グリッドサイズ、4分の1サイズ、画面サイズ、全画面サイズから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● デフォルトサイズモード(Default Size Mode) : ボタンを選択しない場合、ウィンドウはデフォルトサイズで表示されます。 	

- **グリッドサイズ :**
選択されたグリッドによって定められるエリアに合わせて表示されます。



グリッドサイズ

- **4分の1サイズ :**
選択されたスクリーンの 1/4 のサイズで表示されます。



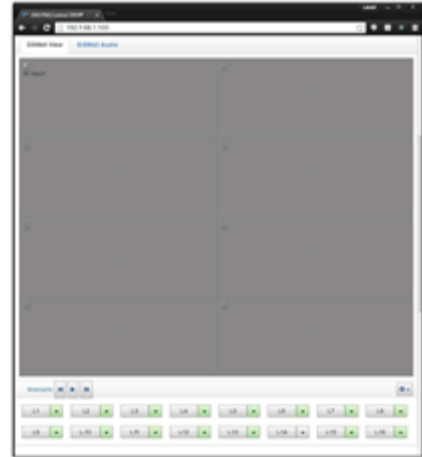
4分の1サイズ

- **画面サイズ :**
ドロップ先のスクリーンサイズで表示されます。



画面サイズ

- 全画面サイズ：
ビデオウォール全体のサイズで表示されます。

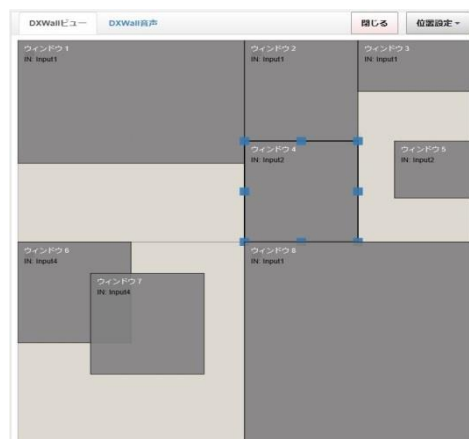


全画面サイズ

「すべてを閉じる」を押すことで、開いているビデオウィンドウをすべて閉じることができます。

ステップ3

DXWall ビュー上の濃い灰色の長方形をクリックすることで、ウィンドウがアクティブになります。またコーナー近くにある青い四角形をドラッグして動かすことで、ウィンドウのサイズを変更することが可能です。



ステップ4

DXWall ビュー上の入力ウィンドウをドラッグすることで、各入力ウィンドウを希望の配置に移動できます。

正確にサイズ変更したい場合には、DXWall ビュー上のウィンドウをクリックすると、DXWall ビューの右上にウィンドウ操作メニューが表示されます。

「閉じる」をクリックすると、選択されたウィンドウが削除されます。

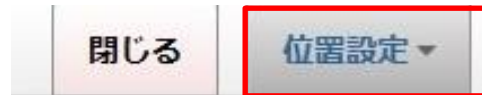


ウィンドウ操作メニュー

「位置設定」のドロップダウンから選択したウィンドウのサイズが変更できます。

また、ウィンドウが選択されている状態で、ウィンドウプロパティのドロップダウンから「アスペクト比を維持」を選び、「アスペクト比を維持」にチェックを入れると、ウィンドウのアスペクト比が保持されます。

重なり合うビデオウィンドウの順序を変更する場合は、ウィンドウが選択されている状態で、ウィンドウプロパティのドロップダウンから「配置」を選択します。前面に移動する場合は「上」ボタン、背面に移動する場合は「下」ボタンをクリックします。



グリッドに合わせる
画面に合わせる
4分の1のサイズに合わせる
全画面サイズに合わせる

位置設定サブメニュー



アスペクト比保持プロパティページ



配置設定ページ

4.8. プロパティ設定 (Property settings)

ウォール上に表示されるビデオウィンドウの外観は、コントロール画面右下のプロパティエリアにて設定できます。表示される設定項目について、以下で説明します。

4.8.1. 配置

ビデオウィンドウを配置する位置を設定できます。

プロパティ・ウィンドウ1			
←	配置	▼	→
-	左 (px):	1263	+
-	上 (px):	802	+
-	幅 (px):	1024	+
-	高さ (px):	768	+
上		下	

- **左/上/幅/高さ**
ビデオウィンドウの位置とサイズを数値で指定することが可能です。
- **上/下ボタン**
ビデオウィンドウのZ順序(上部・下部)を設定できます。上を押すと前面に、下を押すと背面にウィンドウが移動します。

4.8.2. アスペクト比を維持

入力信号のアスペクト比を維持させたい場合はこちらの設定を使用します。



- **アスペクト比を維持**

入力信号のアスペクト比を崩さずに映像を表示したい場合は、チェックを入れます。

- **サイズ基準 / 位置基準**

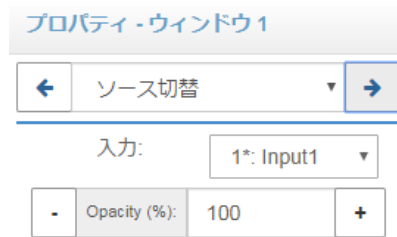
「アスペクト比を維持」を有効にした場合において、ウィンドウサイズや位置を変更したときの表示サイズ、および位置の基準点を指定します。

4.8.3. トリミング



ウィンドウ上に表示する入力信号の一部を切り出して表示することができます。切り出しは、左、上、幅、高さの数値を指定することで行うことができます。「Reset」ボタンを押すと、デフォルト値に戻ります。

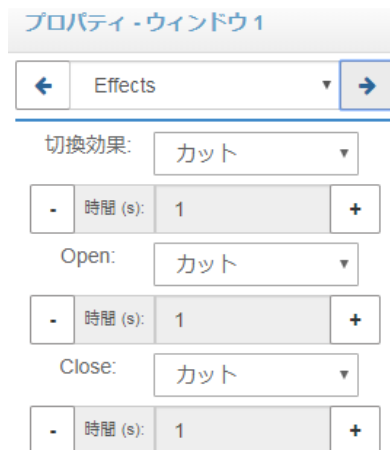
4.8.4. ソース切替



- **入力**
選択したビデオウィンドウの入力チャンネルを変更することができます。
- **Opacity**
ウィンドウの透明度設定が可能です。Opacity を 100% に設定すると不透明の状態となり、Opacity の数値を下げることでウィンドウが透明になり、背面のウィンドウを透過して表示することが可能となります。

4.8.5. Effects

ビデオウィンドウの表示・消去時および入力チャンネルの切替時の効果と時間を設定できます。



4.8.6.Frame

選択したビデオウィンドウの外周にフレームを付けることができます。フレームのサイズと色を設定できます。

プロパティ - ウィンドウ 1

← Frame ▾ →

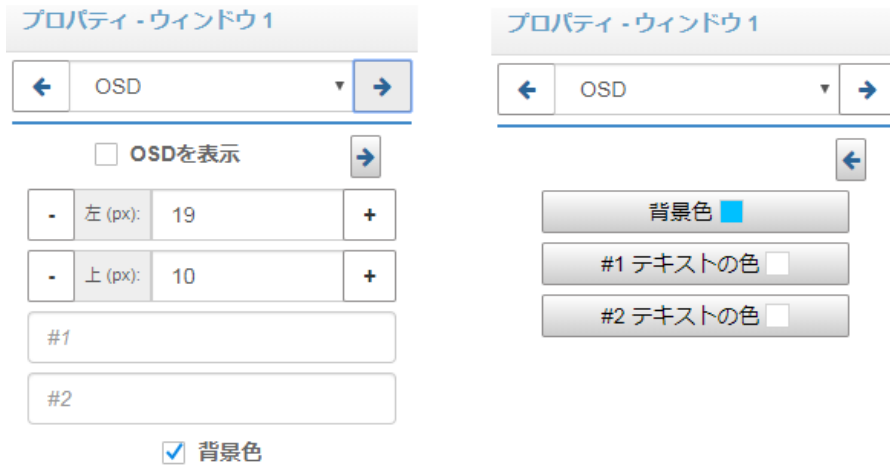
Frame

-	左 (px):	0	+
-	上 (px):	0	+
-	右 (px):	0	+
-	下 (px):	0	+

Frame Color ■

4.8.7.OSD


選択したウィンドウ上に OSD を設定することができます。OSD は 2 つまで設定することができます、それぞれ文字色と背景色を設定することができます。



以下の変数を利用できます。

変数	置き換えられる値
[input_name]	入力チャンネルの名前
[input_id]	入力シリアルナンバー
[input_port]	入力チャンネル
[input_timing]	入力信号のタイミング
[input_hdcp]	入力信号の HDCP ステータス ("HDCP"もしくは"")
[output_name]	出力チャンネルの名前
[output_id]	出力シリアルナンバー
[output_timing]	出力信号のタイミング
[output_rotation]	出力信号のローテーション
[output_hdcp]	出力信号の HDCP ステータス ("HDCP"もしくは"")
[window_id]	ウィンドウ ID
[window_position]	ウィンドウの位置座標
[window_size]	ウィンドウのサイズ
[alarm_osd]	入力信号が無効な場合は OSD が表示され、有効な場合は OSD が表示されません

4.9. 音声入出力マトリクス操作方法

<p>ステップ1 DXWall ビューエリアにある「DXWall 音声」タブを選択します。デフォルトでは、音声入出力のマトリクス画面はグリッドモードで表示されています。</p> <p>※ 画面上部にある「グリッドサイズ」のチェックを外すことで、アサインメント画面の表示を切り換えることが可能です。</p>	
<p>ステップ2 入力チャンネルと出力チャンネルが交差するボタンをクリックします。ボタンが緑色で表示され、選択した入力信号の音声が出力されます。</p>	
<p>※ 選択したボタンが青色で表示されている場合は、待機中の状態で、まだ音声は出力されていません。この状態から「開始」ボタンを押すと、音声が出力されます。</p>	
<p>※ 自動的に反映させる場合は、画面下部にある「自動で反映させる」にチェックを入れてください。</p>	
<p>ステップ3 緑色のボタンをもう一度クリックすると、音声出力が停止します。「全て閉じる」ボタンを押すことで出力中の全ての音声を停止できます。</p>	

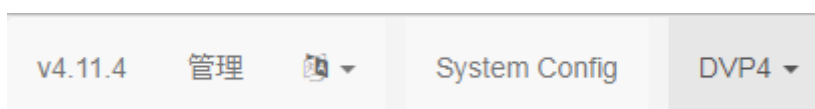
5. システム設定

管理者権限を持つユーザーのみ、本機のシステム設定にアクセスできます。設定ページでは、以下の項目を設定できます。

- Section(s)
- Users
- User presets
- Remote control
- Serial port
- Date and time

設定できる項目はモデルによって異なります。

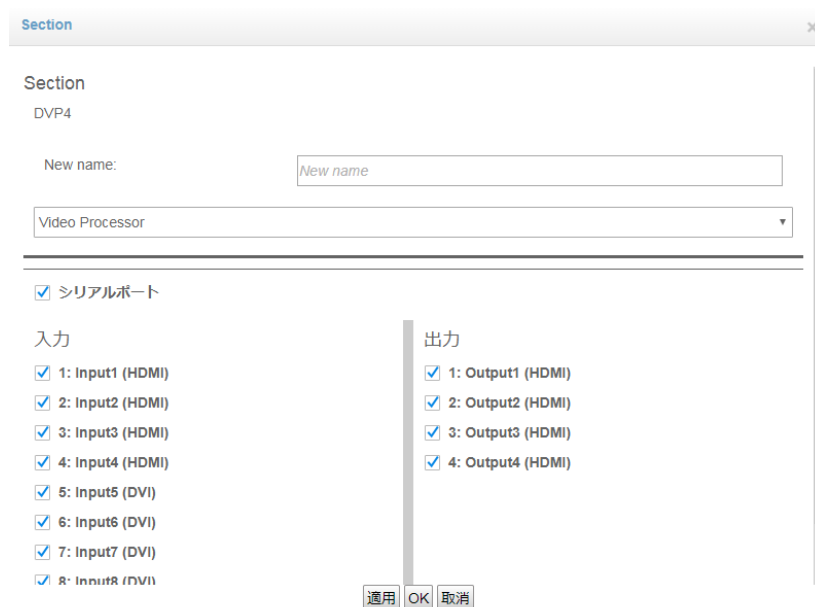
Administrator でログインすると、ページのヘッダ一部にある「System Config」ボタンからシステム設定ページにアクセスできます。



5.1. システム設定 (System Config)

システム設定にてビデオプロセッサ機能の設定を変更することができます。通常は「Video Processor」の Section が設定されています。

注意： Section はメンテナンス用設定の為、通常使用時は設定を変更しないでください。



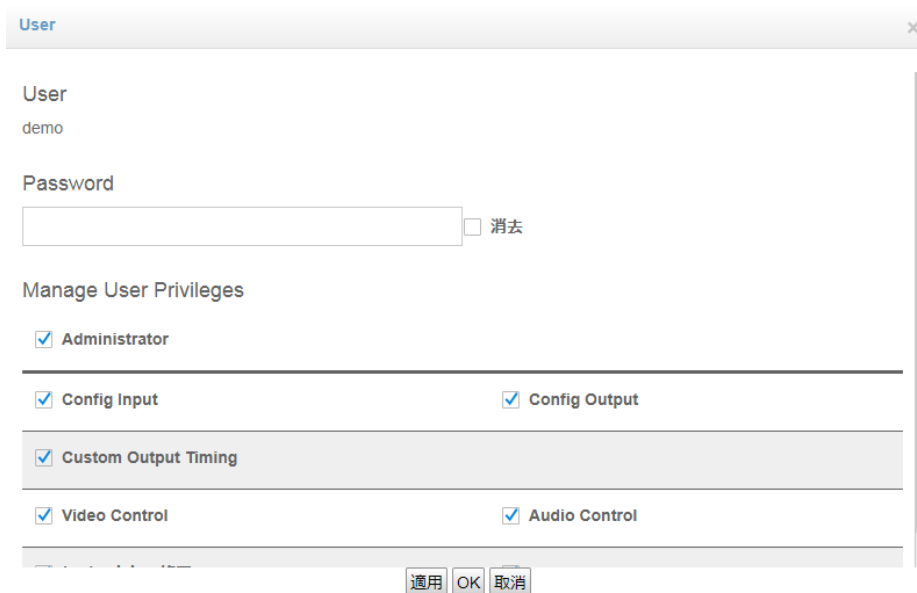
5.2. インフォパネル (Info Panel)

System Config ページの右側に、インフォメーションパネルがあります。このパネルはシステム構成に関するデータや、入力や出力の詳細データを確認できます。この情報は、システム構築のプロセスで利用できません。

5.3. ユーザー設定 (User Configuration)

本機はそれぞれのユーザーに個々の権限を割り当てることができます。各ユーザーは割り当てた権限の操作のみ行うことができます。例えば、あるユーザーは作成済みのレイアウトの呼び出しのみ可能ですが、設定のパラメータの修正はできない、といったことが可能です。

System Config ページでは、新しくユーザーやパスワードを作成することができます。



The screenshot shows a 'User' configuration window. It includes a 'User' field with the value 'demo', a 'Password' field with a '消去' (Clear) button, and a 'Manage User Privileges' section. The privileges listed are: Administrator (checked), Config Input (checked), Config Output (checked), Custom Output Timing (checked), Video Control (checked), and Audio Control (checked). At the bottom, there are buttons for '適用' (Apply), 'OK', and '取消' (Cancel).

ユーザーには以下の権限を割り当てることが可能です。

- 入力信号のパラメータの設定
- 出力パラメータの設定
- カスタム出力解像度の指定
- 映像の制御
- 音声の制御
- シナリオの編集
- シナリオの実行

「Administrator」ユーザーには、上記すべての権限が与えられています。

5.4. 詳細設定 (Advanced Configuration)

System Config ページの右側に、複数のタスク設定が可能な詳細設定エリアがあります。設定項目について、以下で説明します。

5.4.1. ユーザープリセット (User Presets)

すべての入出力設定および詳細設定のパラメータをプリセットボタンに保存し、呼び出すことが可能です。異なるユーザープリセットを4つまで保存可能です。ドロップダウンリストから登録先のプリセットボタンを選択します。

保存ボタンを押すと、現在の設定パラメータがプリセットボタンに登録されます。プリセットボタンの登録を解除する場合は、消去ボタンを押します。

The screenshot displays the 'User Presets' configuration window. At the top, there is a title bar '詳細設定' (Advanced Settings). Below it is a navigation bar with a left arrow, the text 'ユーザープリセット' (User Presets), and a right arrow. A dropdown menu below shows 'プリセット 1: P1' (Preset 1: P1). Underneath are two buttons: '保存' (Save) and '消去' (Delete). A larger button labeled 'プリセットの名称変更' (Change Preset Name) is also present. Below this is the label 'ユーザープリセット' (User Presets). At the bottom, there are four buttons arranged in a 2x2 grid, labeled 'P1', 'P2', 'P3', and 'P4'.

- **プリセットの名称変更**
選択したプリセットボタンの名前を変更することが可能です。
- **ユーザープリセット**
登録済みのプリセットボタンを押すことで、ユーザープリセットのリストアが実行されます。

【注意】 プリセットをリストアすると、システムは再起動しユーザーはログアウトします。設定を行うには再度ログインが必要です。

5.4.2. ネットワーク設定 (Remote Control)

ネットワークパラメータを設定することができます。DHCP 自動取得もしくは固定 IP (IP アドレス、サブネットワークマスク、デフォルトゲートウェイ) を設定できます。LAN1 ポートと LAN2 ポートをそれぞれ設定することができます。

詳細設定

← ネットワーク設定 ▼ →

LAN 1 ▼

DHCP

IPアドレス: 192.168.1.100

ネットワークマスク: 255.255.255.0

Default Gateway: 192.168.1.254

適用

5.4.3. シリアルポート (Serial Port)

シリアルポートのパラメータを設定できます。

- ボーレート
- データビット
- パリティ
- ストップビット
- フロー制御

詳細設定

← シリアルポート ▼ →

ボーレート: 9600 ▼

データビット: 8 ▼

パリティ: None ▼

ストップビット: 1 ▼

フロー制御: None ▼

設定

5.4.4. 日付&時刻 (Date and Time)

システムの日付と時間を設定できます。



詳細設定

← 日付&時刻 ▾ →

日付: 07/17/2020 📅

時刻: 16:47:35 ⌚

設定

5.4.5. エクストラ (Extra)

いくつかのアドミニストレータのタスクは、Extra で実行できます。



詳細設定

← エクストラ ▾ →

設定のロード

設定の保存

FWアップデート

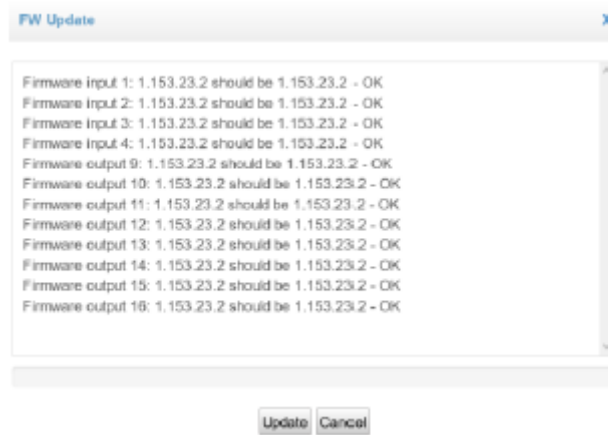
再起動 シャットダウン

出荷状態に戻す

- **設定の保存**
現在の構成がファイルに保存されます。
- **設定のロード**
前回保存した構成のファイルをロードできます。その際、ロード前の構成は消去されます。

【注意】 構成をロードすると、システムは再起動しユーザーはログアウトします。設定を行うには再度ログインが必要です。

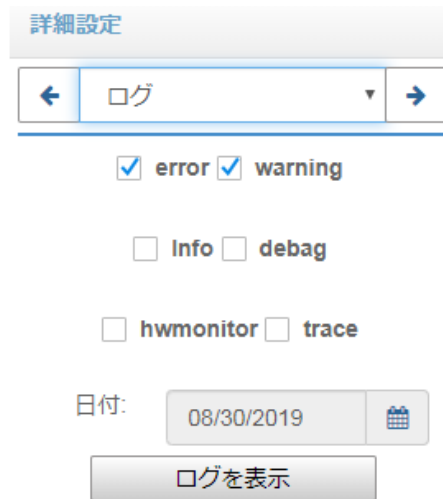
- **ファームウェアアップデート**
ファームウェアアップデートダイアログを開きます。Update ボタンを押すことで、新しいバージョンや別のバージョンのファームウェアがアップロードされます。



- **再起動**
本機を再起動します。
- **シャットダウン**
本機をシャットダウンして電源をオフにします。
- **出荷状態に戻す**
全ての設定とプリセット、レイアウトが消去されます。

5.4.6. ログ (Logging)

本機で行ったオペレーションをログファイルとして表示・保存することができます。ログファイルは日付を選択して呼び出すことができます。システムログは 180 日間保存されます。



詳細設定

← ログ →

error warning

Info debug

hwmonitor trace

日付: 08/30/2019

ログを表示

以下のログタイプメッセージを保存することが可能です。

- Error
- Warning
- Info
- Debug
- HW Monitor
- Trace

5.4.7.情報 (Hardware Monitor Info)

本機に関する特別な情報（ファームウェアバージョン、ハードウェアセンサー、温度など）を確認できます。表示される情報は5秒間隔で更新されます。



センサーが正常な変数を測定している際は、緑色のランプが表示されます。1つもしくは複数の変数が適正な領域を超える場合、赤色のランプが表示されます。

6. ビデオウォールの構成設定

6.1. スクリーン設定

ビデオウォールの設定方法について、以下で説明します。

ステップ1

ビデオウォールの設定を行うには、画面上部の「System Config」の隣のタブをクリックし「設定」を選択してください。

1. ビデオウォールの構成の設定を行います。グリッドサイズタブの画面上にてスクリーンの数と配置をクリックします。
2. 映像のベゼル補正についてはベゼル補正の入力項目にて、垂直方向と水平方向のベゼル幅を設定可能です。

背景色：

スクリーンの背景色を設定します。

出力のタイミング：

スクリーンの解像度を設定します。全ての出力ポートが設定した解像度で出力されるようになります。

Color Format：

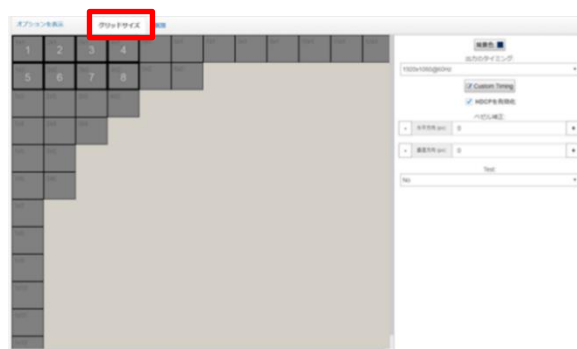
出力映像のカラーフォーマット（RGB / YCbCr 4:4:4 / YCbCr 4:2:2）を設定します。

HDCP を有効化：

チェックを入れると出力信号に HDCP を付加するようになり、HDCP 対応モニタに HDCP ソース映像を表示できるようになります。

Monitor Gap：

スクリーン間の間隔を設定します。表示器にプロジェクターを使用する場合には、出力映像の境界付近を重



ビデオウォール設定画面（グリッドサイズ）

背景色:

出力のタイミング:
1920x1080@60Hz

Custom Timing

Color Format:
RGB

HDCPを有効化

Monitor Gap:
- 水平方向 (px): 0 +
- 垂直方向 (px): 0 +

Test:
いいえ

設定項目

ね合わせる（オーバーラップする）ことで、境目を目立たなくすることが可能です。
 また、表示器のベゼル幅に合わせた調整も可能です。
 （ベゼル補正）ベゼル補正を設定することで、ベゼルを跨ぐ映像を歪みなく表示することが可能になります。
 オーバーラップさせたい場合は設定値をマイナス(-)の数値を設定します。ベゼル補正の場合はプラス(+)の数値を設定します。

Test :

スクリーンにテストパターンを表示することが可能です。オーバーラップやベゼル補正の調整時に使用します。

ステップ2

個別タブを選択することで、変則的なビデオウォール構成を設定することが可能です。



ビデオウォール設定画面（個別）

表示オプション :

選択することでスクリーンの並びを自動的に配置できます。

出力 :

設定を行う対象のスクリーンを選択します。

有効化 :

チェックを外すと、そのスクリーンが非表示になり、映像が出力されなくなります。

背景色 :

スクリーンの背景色を設定します。

出力名 :

スクリーンに固有の名前を登録できます。入力した名前はコントロール画面に表示されます。

オプションを表示:

出力:

有効化

背景色:

出力名:

出力のタイミング:

Custom Timing

Output Format:

HDCPを有効化

設定項目 1（個別）

出力のタイミング :

選択したスクリーンの解像度を設定します。

Output Format :

選択した出力のカラーフォーマット (RGB / YCbCr 4:4:4 / YCbCr 4:2:2) を設定します。

HDCP を有効化 :

チェックを入れると出力信号に HDCP を付加するようになり、HDCP 対応モニタに HDCP ソース映像を表示できるようになります。

Monitor Position :

選択したスクリーンの位置を数値指定で設定できます。

Display Area :

選択したスクリーンの表示領域の大きさを数値指定で設定できます。

Monitor Bezel :

選択したスクリーンのベゼル幅を数値指定で入力できます。

Test :

スクリーンにテストパターンを表示することが可能です。オーバーラップやベゼル補正の調整時に使用します。

The screenshot shows a settings menu with the following sections:

- Monitor Position:** Two input fields for '左 (mm): 0' and '上 (mm): 0', each with a minus sign on the left and a plus sign on the right.
- Display Area:** Two input fields for '幅 (mm): 1920' and '高さ (mm): 1200', each with a minus sign on the left and a plus sign on the right.
- Monitor Bezel:** Four input fields for '左 (mm): 0', '上 (mm): 0', '右 (mm): 0', and '下 (mm): 0', each with a minus sign on the left and a plus sign on the right.
- Test:** A dropdown menu currently showing 'いいえ' (No).
- Below the Test menu are four buttons: 'Copy', 'Paste', 'Set to All', and '適用' (Apply).

設定項目 2 (個別)

6.2. カスタム出力解像度

本機は一般的な表示器で使われている解像度を内蔵しています。しかし LED パネルディスプレイ等を利用する際は、内蔵のリストにないフォーマットが必要となります。カスタム出力解像度機能を利用することにより、パラメータを変更することで出力解像度を作成することができます。

The screenshot shows the 'Custom Output Timings' menu. On the left, a list of four custom resolutions is shown: 1: 640x480@60Hz, 2: 720x480@60Hz, 3: 720x576@50Hz, and 4: 800x600@60Hz. The fourth option is selected. To the right of the list are three buttons: a plus sign (+) to create a new custom resolution, a pencil icon to edit the selected one, and a minus sign (-) to delete the selected one. Below the list is a dropdown menu showing '640x480@60Hz'. The main area contains various input fields for timing parameters: Pixel Clock in MHz (39.79), Interlaced (checkbox), H. Active Pixels (800), V. Active Lines (600), H. Blank Pixels (206), V. Blank Lines (28), H. Front Porch (40), V. Front Porch (1), H. Sync Width (128), V. Sync Width (4), H. Sync Polarity (+) (checkbox checked), and V. Sync Polarity (+) (checkbox checked). At the bottom, there is a 'Store' button and an 'OK' button.

新しいカスタム解像度を作成することができます。

選択したカスタム解像度を修正します。

選択したカスタム解像度を消去します。

出力解像度のパラメータを左のリストからインポートします。

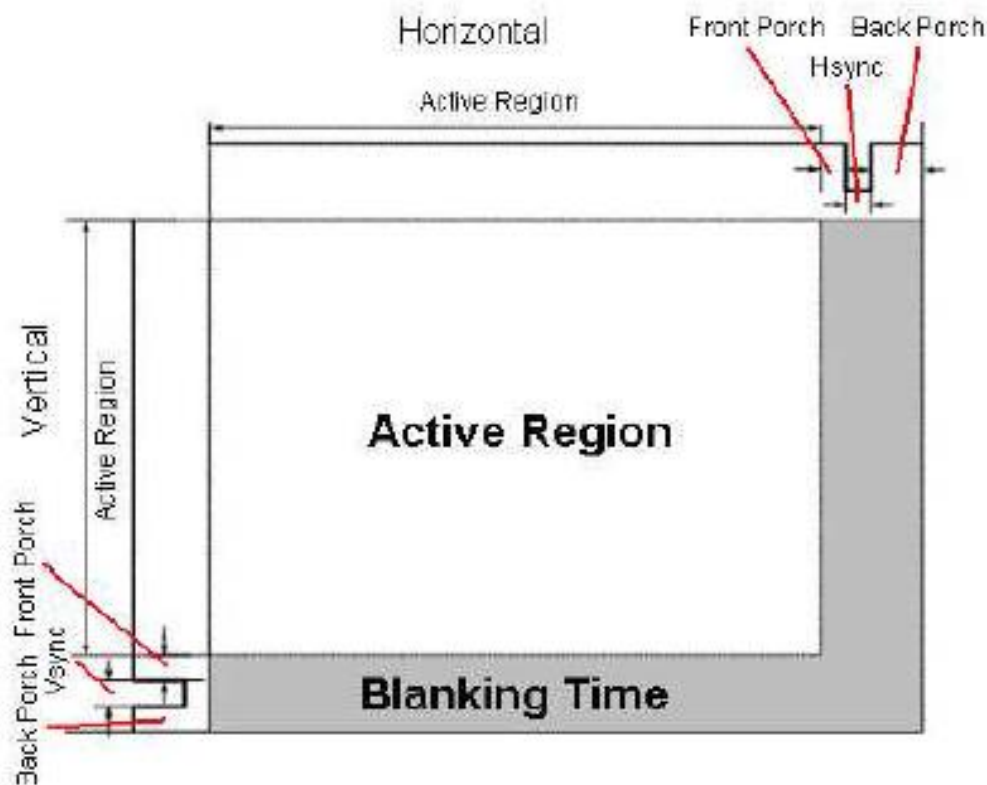
カスタム出力解像度設定画面により、新しい出力解像度を作成や修正、削除を行うことができます。カスタム出力解像度設定画面には、「設定」画面の「グリッドサイズ」上にある「Custom Timing」ボタンから入ることができます。



カスタム出力解像度を設定することで、出力カードが対応している範囲内での出力解像度のリストを増やすことができます。作成したカスタム出力解像度は他の出力チャンネルでも使用することができます。

カスタム出力解像度設定画面には以下のパラメータがあります。

- **Pixel Frequency** (MHz)
- **Active Area Width** (pixels)
- **H Blanking Interval** (pixels)
- **H Front Poach** (pixels)
- **H Sync Width** (pixels)
- **Active Area Width** (pixels)
- **V Blanking Interval** (pixels)
- **V Front Poach** (pixels)
- **V Sync Width** (pixels)
- **Sync polarities** (positive もしくは negative)




各パラメータの関係性は以下となります。

- $V \text{ Blanking Interval} = V \text{ sync} + V \text{ Back Porch} + V \text{ Front Porch}$
- $H \text{ Blanking Interval} = H \text{ sync} + H \text{ Back Porch} + H \text{ Front Porch}$
- $V \text{ Total Size} = V \text{ Blanking Interval} + \text{Active Area Height}$
- $H \text{ Total Size} = H \text{ Blanking Interval} + \text{Active Area Width}$
- $\text{Line Frequency} = \text{Frame rate} \times V \text{ total size}$
- $\text{Pixel Frequency} = \text{Line Frequency} \times H \text{ total size} = \text{Frame rate} \times V \text{ Total Size} \times H \text{ Total Size}$

【注意】 カスタム出力解像度を利用する際は、事前検証を行ってください。

6.3. 入力設定

設定画面の入力信号パネルには、入力チャンネルのステータスが表示されます。 アイコンをクリックすると、入力信号設定ウィンドウが開きます。入力信号に関するパラメータの設定・確認を行うことができます。



- **トリミング**
入力信号の一部を切り出して表示することができます。切り出しは、左、上、幅、高さの数値を調整することで行うことができます。「初期値に戻す」ボタンを押すと、デフォルト値に戻ります
- **EDID**
入力チャンネルの EDID 情報を設定します。リストから映像解像度を選択する、または数値を指定してカスタム EDID を設定することが可能です。

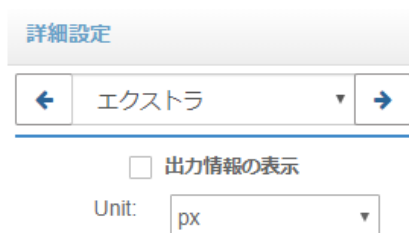
【注意】 カスタム EDID 機能を利用する際は、事前検証を行ってください。

- **音声入力**
入力する音声信号を、HDMI エンベデッド音声、またはアナログ音声入力から選択できます。
- **HDCP を有効化**
接続したソース機器の HDCP 出力について設定できます。「No」に設定した場合、ソース機器は著作権保護されていない映像信号のみを出力します。入力信号に著作権保護されたコンテンツが含まれる場合は、「1.x」、または「1.x - 2.2」を設定してください。
- **入力名**
コントロール画面上に表示される入力チャンネルの名称を設定できます。
- **情報**
入力信号のステータスを表示します。

6.4. 詳細設定パネル (Advanced Panel)

設定画面の右側に、複数のタスク設定が可能な詳細設定エリアがあります。設定項目について、以下で説明します。

6.4.1. エクストラタブ



- **出力情報の表示**

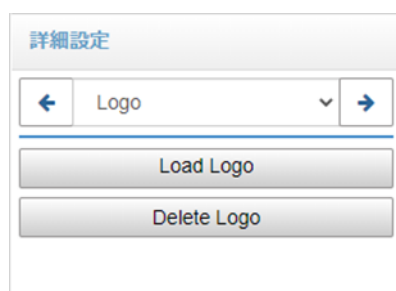
チェックを入れると、出力解像度情報を各表示器上に表示します。設定画面を閉じると無効になります。

Unit

ビデオウォール設定の数値の単位を変更できます。グリッドサイズを選択中は「px (ピクセル)」のみになります。個別を選択中は「mm」と「inch」から選択できます。

6.4.2. Logo タブ

ロゴを設定することができます。ロゴはユーザーインターフェースウィンドウの右上に表示されます。ユーザーロゴのイメージは最大1MBのpngフォーマットで登録してください。



6.4.3. 情報タブ

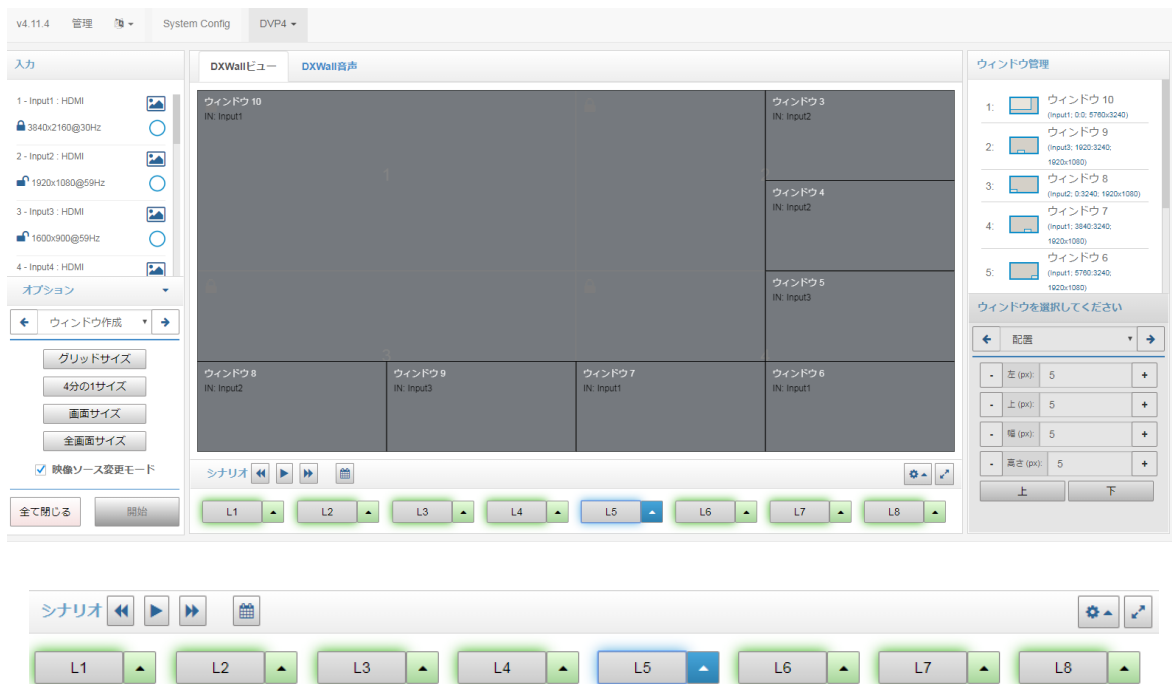
本機のハードウェアモニタリング情報が表示されます。センサーが正常な変数を測定している際は、緑色のランプが表示されます。1つもしくは複数の変数が適正な領域を超える場合、赤色のランプが表示されません。


7. シナリオ操作

ビデオウィンドウのレイアウトを保存し、スケジュールで複数のレイアウトを簡単に切り換えることができます。本機にはレイアウトを最大 32 個まで保存できます。

7.1. DXScenario User Interface

DXHTMLControl の「コントロール」画面から、シナリオの表示、作成が可能です。



既存のシナリオを開始する場合は、シナリオパネル右上の設定ボタンから「シナリオを開く」を選択してシナリオファイルを選択してください。シナリオファイルの拡張子は.xmlです。シナリオは、シナリオパネル上のレイアウトボタンによって構成されます。選択したシナリオのレイアウトを表示するには、レイアウトボタンをクリックしてください。シナリオは、同じボタンを再度押すことで停止できます。シナリオは一度に一つのみ実行できます。



7.2. シナリオファイルの編集と操作

以下のボタンを利用することにより、新しいシナリオファイルを作ることができます。

- **新しいシナリオの作成**
「消去」メニューをクリックします。シナリオが登録されていない状態が復元されます。シナリオを作成するには、シナリオのステップを一つ一つ定義する必要があります。
- **ステップの作成 / 保存**
新しいステップを作成するには、保存したいレイアウトボタンの右側の▲をクリックし、保存を選択します。新しいレイアウトが保存され、既存のレイアウトが上書きされます。
シナリオパネルの右上にある設定ボタンから「レイアウトの作成」を選択することでも、現在のウィンドウの配置をレイアウトに保存できます。この場合、レイアウトは何も保存されていないレイアウトボタンに新規に保存されます。
- **プロパティ**
プロパティメニューからレイアウト名やステップの変更が可能です。ボタンの色は簡単に変更でき、ステップや時間のパラメータの追加を行うことができます。



- **シナリオの保存**
LAN 経由で外部から DXHTMLControl に接続している場合、作成したレイアウト、シナリオを.xml ファイル形式でエクスポートできます。

- **シナリオを開く**

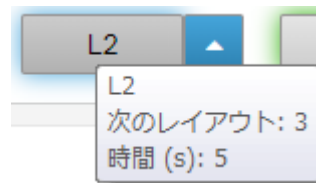
保存したシナリオファイルの本機にインポートできます。ファイルを読み込むと保存したレイアウトがシナリオパネルに復元されます。

レイアウト表示には、いくつかのオプションがあります。

- **シナリオの再生/停止**

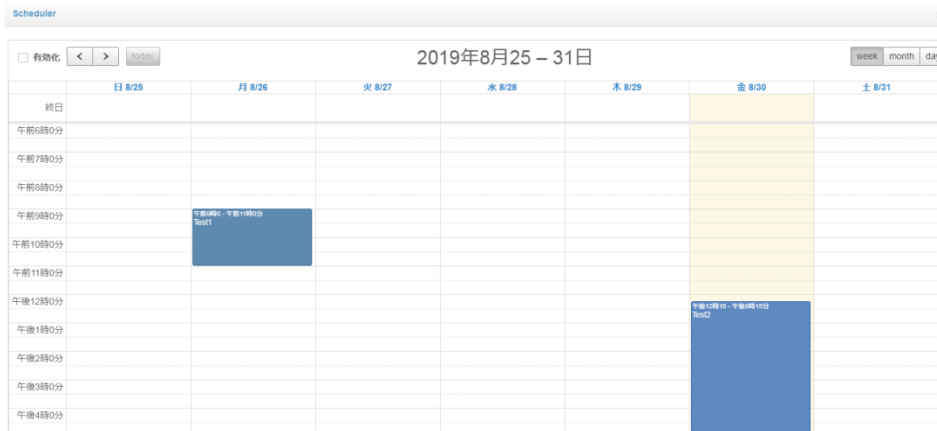
シナリオ再生機能は指定した時間でレイアウトをシーケンシャル表示することができます。シナリオ再生には、再生時間を設定する必要があります。

「再生」ボタンを押すと、選択したシナリオを表示します。設定した時間が経過すると、「次のレイアウト」で定義したレイアウトに切り換わります。再生時間を設定していない、または「次のレイアウト」を「オフ」に設定している場合は、シナリオ再生が停止します。「停止」ボタンをクリックすることで、シナリオ再生を手動停止することが可能です。



7.3. カレンダーを利用した DXScenario ユーザーインターフェース

カレンダーを利用し、シナリオを動作させることができます。



7.3.1. スケジュールイベントの作成

以下の手順でプレゼンテーションを追加します。

1. カレンダーボタンを押します。
2. カレンダーからシナリオを動作させたい日付をクリックします。
3. 設定ウィンドウが表示されます。Name のテキストボックスに、このプレゼンテーションに対する適切な名前を入力します。
4. プロトコルドロップダウンリストから、イベントタイプを選択します。
 - Recall Layout = レイアウトの呼び出し
 - Text Over Serial Port = シリアルポートからテキストの送信
 - Hex Over Serial Port = シリアルポートから HEX の送信

シリアルポート経由で string もしくは byte array を送信できます。例えば、byte array なら 01 A4 05 30 01 は 1 byte = 2 hex digit とスペース 1 つを意味しています。

5. Recall Layout を選択した場合は呼び出し対象のレイアウトを選択します。Text (Hex) Over Serial Port を選択した場合は送信するデータを入力します。
6. 常時プレゼンテーションを表示する場合は、「Active All Day Every Day」ボックスにチェックを入れてください。「Active All Day Every Day」を選択すると起動時と毎晩 0:00 にプレゼンテーションがスタートします。
7. プレゼンテーションの開始時刻と終了時刻を設定したい場合は、「Start Time」と「End Time」を入力します。
8. 特定の時間帯で繰り返してプレゼンテーションを利用したい場合は、「Recurring Event」をチェックしてください。以下のオプションが選択できるようになります。

Daily

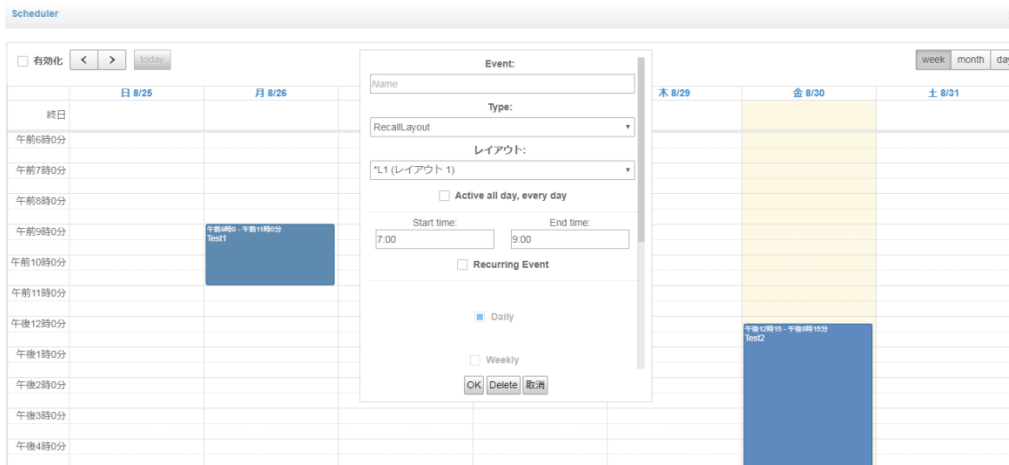
- ・ Every day 毎日
- ・ Every weekday 毎平日（月～金）
- ・ Every weekend 毎週末（土、日）

Weekly 実行する曜日を選択できます。

「Recurring Event」をチェックした際は、「Start Date」と「End Date」を設定する必要があります。

9. 設定が終わったら、「OK」をクリックしてください。

すべてのイベントを無効にするには、左上にある「Enable」チェックボックスを外してください。



8. タブレットコントロール

本機は iOS や Android、Linux からブラウザを利用して制御することができます。GUI は Windows の操作画面と近いデザインとなっています。



9. 外部キーボードを使った操作

標準のキーボード、またはプログラム可能なキーパッドを接続することで、作成済みのレイアウトを簡単に呼び出すことが可能です。レイアウトを呼び出す際のキーボードの組合せは、以下になります。

1. CTRL キーを長押しします。(CTRL KeyDown)
2. レイアウトの ID 番号 (レイアウトボタンに表示されている数字) を入力します。
3. CTRL キーを離します。(CTRL KeyUp)
4. 入力した ID 番号のレイアウトに切り換わります。

10. 工場出荷時設定

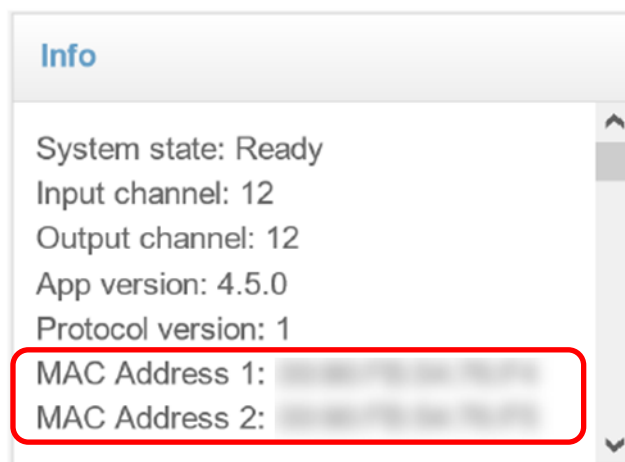
本機を工場出荷時の状態に戻した場合、以下のパラメータが有効になります。

1. ユーザー名・パスワード
Username : Administrator
Password : 設定なし
2. ネットワーク
LAN1 : DHCP
LAN2 : DHCP
3. Serial port
ボーレート : 9600
データビット : 8
パリティ : No
ストップビット : 1
フローコントロール : None

11. Wake on LAN

別途マジックパケット送信用端末とユーティリティソフトを使用することで、Wake on LAN を利用して本機をネットワーク経由で遠隔起動することが可能です。

- 以下から WakeOnLan.zip を保存します。
<https://www.dropbox.com/s/70j94s5vip4ecu5/WakeOnLan.zip?dl=0>
- WakeOnLan.zip 中にある DXWakeOnLan.exe を、ウェイクアップ手順を始動するリモート機器にコピーし起動します。
- 本機のネットワークアダプタの MAC アドレスを入力します。MAC アドレスは System Config の「Info Panel」に表示されます。



【注意】 DXWakeOnLan.exe はコマンドライン引数なしで利用することができますが、いくつかのコマンドライン引数に対応しています。詳細については、コマンドプロンプトにて DXWakeOnLan.exe -? コマンドを実行してください。

12. 製品仕様

項目		DVP500x シリーズ	
OS		エンベデッド OS (Windows Embedded)	
TCP/IP ネットワーク機能		10 / 100 / 1000BASE-T	
I/O ペリフェラル		USB キーボード・マウス	
映像 入力	入力数	Min. 4 入力 ~ Max. 144 入力	
	ユニバーサル入力	対応フォーマット	デジタル : HDMI / DVI (HDCP 1.4 対応) アナログ : RGB / コンポジット / コンポーネント / S-ビデオ
		対応解像度	HDMI / DVI : 640x480 ~ 1920x1200@60 RGB : 640x480 ~ 1920x1080@60 コンポーネント : 576i / 576p / 720p / 1080i / 1080p Video : PAL / NTSC
		コネクタ	DVI-I
	HDMI 入力	対応フォーマット	HDMI / DVI (HDCP 1.4 / 2.2 対応)
		対応解像度	640x480 ~ 4K@60 (注 1)
		コネクタ	HDMI Type A
	HDBaseT 入力	対応フォーマット	HDMI / DVI (HDCP 1.4 / 2.2 対応)
		対応解像度	640x480 ~ 4K@30
		ケーブル	Cat5e / Cat6
		最大延長距離	100 m (1080p)
	SDI 入力	コネクタ	RJ-45
		対応フォーマット	3G / HD / SD-SDI (SMPTE 424M / 425M / 292M / 259M)
コネクタ		BNC	
ビデオ入力	対応フォーマット	PAL / NTSC	
	コネクタ	D-sub26 ピン (専用 BNC 変換ケーブル付属)	
	入力数	Min. 4 入力 ~ Max. 72 入力	
音声入力		コネクタ デジタル音声 : HDMI / RJ-45 / SC アナログ LR 音声 : ターミナルブロック	
映像 出力	出力数	Min. 1 出力 ~ Max. 72 出力	
	HDMI 出力	対応フォーマット	HDMI / DVI (HDCP 1.4 / 2.2 対応)
		対応解像度	640x480 ~ 4K@60 (4:4:4)
		コネクタ	HDMI TypeA
	HDBaseT 出力	対応フォーマット	HDMI / DVI (HDCP 1.4 / 2.2 対応)
		対応解像度	640x480 ~ 4K@30
		最大延長距離	100 m (1080p)
コネクタ		RJ-45	
音声出力		デジタル音声 : HDMI / RJ-45 / SC アナログ LR 音声 : ターミナルブロック	
機能	スキャンコンパート部	ウィンドウアスペクト保持、画像調整 (表示位置、表示サイズ、クロッピング等)、完全シームレス切換 (ウィンドウの入力ソース切換) (注 2) (注 3)	
	その他	PIP 機能 (注 4)、映像音声非連動切換、レイアウト保存 (32 パターン)、日本語対応ブラウザ搭載、プレビュー機能 (オプション) (注 5)	
その他仕様	制御	LAN	2 系統 RJ-45
		RS-232C	1 系統 D-sub9 ピン・オス
	電源	AC 100 V ~ 240 V (50 Hz / 60 Hz)	
	二重化電源	オプション選択可能 (14U モデルは三重化電源が選択可能)	
	消費電力 (注 6)	4U 最大約 350 W 7U 最大約 550 W 14U 最大約 750 W	
外形寸法	4U 483 (W) x 178 (H) x 526 (D) mm (突起物含まず)		
	7U 483 (W) x 296 (H) x 526 (D) mm (突起物含まず)		
	14U 483 (W) x 613 (H) x 526 (D) mm (突起物含まず)		
その他仕様	質量	モデルと挿入カード数に依存しますのでお問い合わせください	
	温度	使用範囲 : +5 °C ~ +40 °C 保存範囲 : 0 °C ~ +50 °C	
	湿度	使用 / 保存範囲 : 10 % ~ 90 % (ただし結露なきこと)	

(注 1) 4U モデルは 4K@60 (4:4:4) まで対応。7U モデル、14U モデルは 4K@60 (4:2:0) まで対応。

(注 2) レイアウト固定時の入力ソース切り換えのみ完全シームレスになります。PIP2 モデルで 1 出力に 2 ウィンドウ表示している場合、または PIP4 モデルで 1 出力に 4 ウィンドウ表示している場合、または PIP8 モデルで 1 出力に 8 ウィンドウ表示している場合、フリーズ映像を挟んだ疑似シームレス切り換えになります。

(注 3) レイアウトパターンを切り換える際は、シームレス切り換えとはなりません。

(注 4) モデルによって 1 出力あたり表示可能なウィンドウ数 (PIP 数) が異なります。PIP2、PIP4、PIP8 の 3 モデルがあります。発注時に選択する必要があります。

- (注 5) 同時に最大 16 種類の入力映像を手元モニタもしくはブラウザ上にプレビュー表示することができます。プレビュー機能を利用する際は、出力ポートにプレビューボードが挿入されます。プレビューボードが占有する出力ポート数によって、同時にプレビュー表示できる数が異なります。
- ボード 1 枚分の出力ポート：8 種類までの同時プレビュー表示が可能
- ボード 2 枚分の出力ポート：16 種類までの同時プレビュー表示が可能
- 詳細は担当営業までお問い合わせください。
- (注 6) 最大消費電力はユニバーサル入力・HDMI 出力・電源二重化 (14U モデルは三重化) した際の数値となります。詳細は担当営業までお問い合わせください。

13. 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しない場合は、まず以下の点をご確認ください。また、本機に接続されている機器に原因がある場合もありますので、そちらの取扱説明書も参照しながらご確認ください。

- ・本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・本機に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・シンク機器は正しく設定されていますか？
- ・機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。なお、故障の連絡をするときは、以下の点を事前にテストしてください。

No.	確認内容	結果
1	すべてのコネクタで同じ現象がでますか？	はい / いいえ
2	本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？	はい / いいえ

DVP500x シリーズ 取扱説明書

Ver.1.0.0

発行日：2021年9月7日



株式会社アルバニクス

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL: (046) 259-6920
FAX: (046) 259-6930
E-mail: info@arvanics.com
URL: <http://www.arvanics.com>